

平成22年 5月27日

監事監査報告書

中国四国厚生局
局長 野島康一様

社会福祉法人こうほうえん

常勤監事 石水正奉 

監事 山本博敏 

私達監事は、社会福祉法人こうほうえんの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの事業年度の理事の業務執行の状況及び財産の状況について監査を致しました。

この監査に当って、私達監事は、法令及び通知に従い、社会福祉法人監事監査要領に定められた監査手続きを実施いたしました。

監査の結果、私達監事の意見は次のとおりです。

- (1) 事業報告書は、関連する法令及び通知に従い、事業の執行状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (2) 財産目録は、関連する法令及び通知に従い、財産を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (3) 貸借対照表は、関連する法令及び通知に従い、資産と負債の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (4) 資金収支計算書及び事業活動収支計算書は、関連する法令及び通知に従い、収入と支出の状況を正しく示し、不整の点はないと認めます。
- (5) 東京都品川区の「ヘルスケアタウンにしおおい」は平成21年3月より営業開始。その内容は、高齢者向け優良賃貸住宅<ケアホーム西大井こうほうえん>、介護予防拠点<西大井いきいきセンター>、保育園<キッズタウンにしおおい>である。都内でも校舎跡地活用の成功事例として注目を浴びており、品川区の応援もあって初年度より予想よりも高い収益を上げている。
- (6) 錦海リハビリテーション病院は低額無料診療制度を活用して地域に広く貢献している。尚、切れ間の無い365日のリハビリを実施することで治療効果を上げて入院期間を短縮し、収益増にも大きく寄与している。
- (7) 平成21年4月1日付け介護保険法の改正に伴い職員給与等の適正な改善策を決定し、同時に職員の更なる処遇改善に向けて努力し、職員旅行の22年度からの実施へ向けて検討に入る。
- (8) 日比経済連携協定に基づく介護福祉士候補生として、平成21年11月11日よりフィリピン人の女性2名を「なんぶ幸朋苑」で受け入れている。
- (9) 平成22年1月28日～30日に、うきま幸朋苑に対して法人内部業務監査を都の規程に則り実施する。書類関係は粗完璧に作成処理されていた。尚、職員にアンケートを実施したところA4版30ページ分にも及ぶ生の意見が寄せられ、今後へ向けた意欲が十分に伺えた。
- (10) 社会福祉法人に対して益々コンプライアンス及びガバナンスの強化が求められており、法人本部並びに全事業所に対して業務監事監査を厳正実施することで、改善すべき点を始めとして良かった点については他部門へ展開できないか等を提示し、より健全な経営に貢献していきたい。